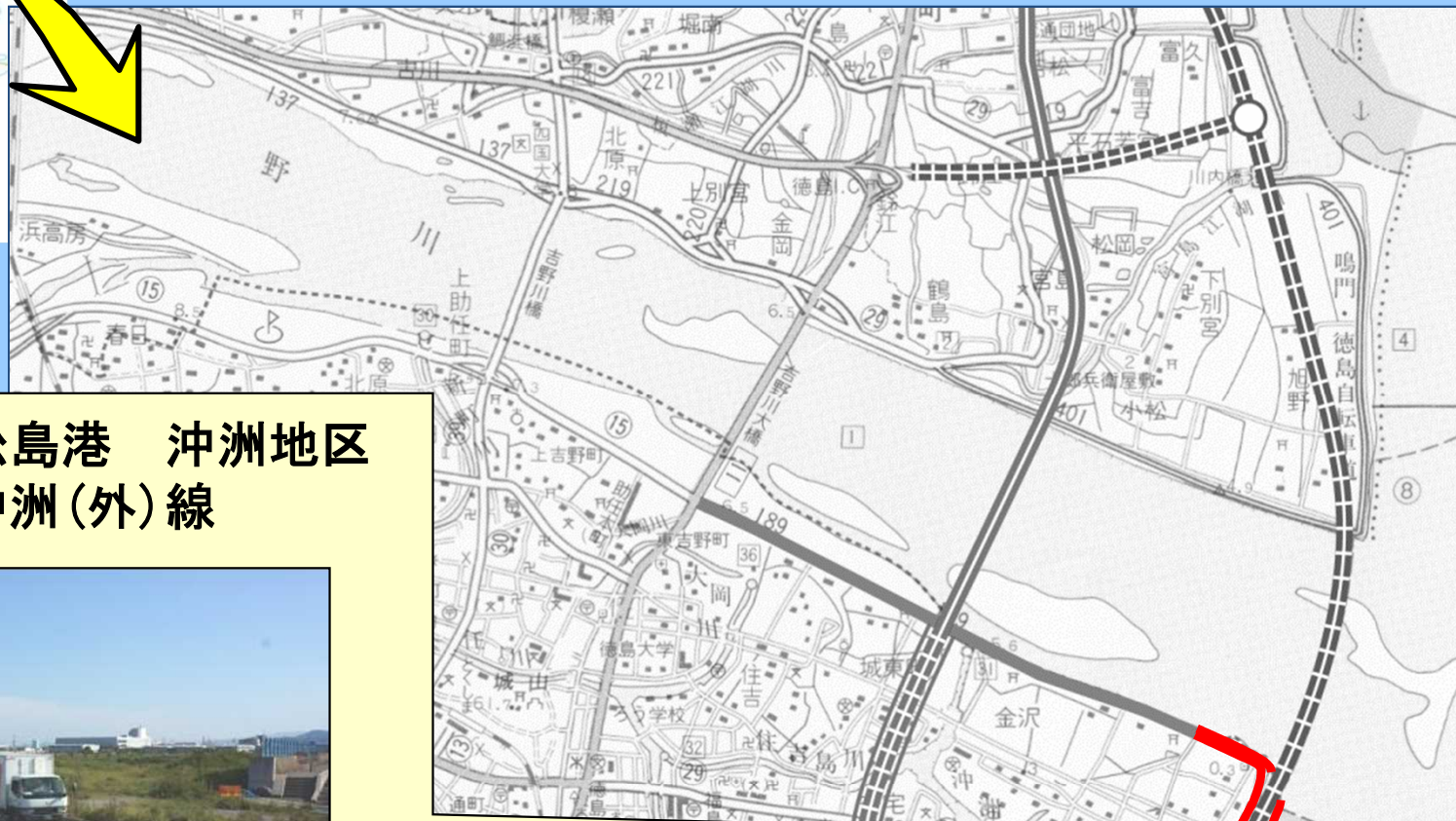
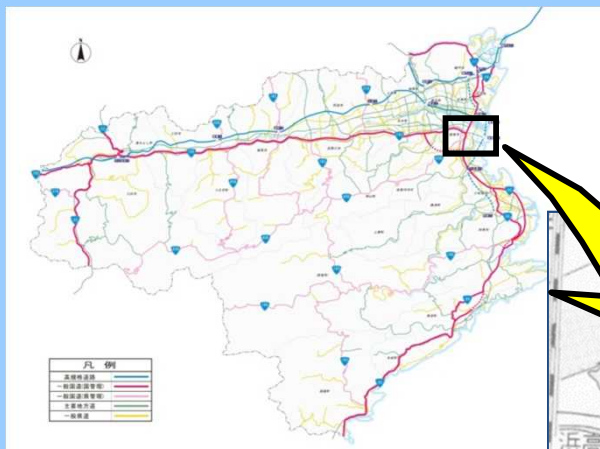


再評価【番号21】

臨港道路 沖洲(外)線
徳島小松島港 沖洲地区

位置図 再評価



番号 21 徳島小松島港 沖洲地区
臨港道路 沖洲(外)線



1. 事業概要



2. 道路交通上の課題



中央卸売市場・マリンピア沖洲産業団地の発生集中交通及び徳島東IC利用車両が元町沖洲線に集中し、**渋滞**



中央連絡道路
(沖洲(外)線暫定供用前)

通勤車両で渋滞



マリンピア沖洲産業団地・徳島東ICへの新たなアクセス路を整備し、主に吉野川北岸からの交通を担って、**渋滞を緩和**



中央連絡道路
(現状: 拡幅工事中)

3. 事業の進捗状況

全体延長
L=1,410m

暫定供用(2車線)
L=900m
平成22年3月

《進捗率》

事業費：94%

用地：100%

凡例

- : 整備済箇所
- : H30実施中箇所
- : H31計画箇所
- : 四国横断自動車道
- : 道路事業・街路事業
- : 臨港道路と道路の重複区間

四国横断自動車道(NEXCO)

徳島東IC(仮称)

元町沖洲線(徳島東インター線)

中央卸売市場

東吉野町北沖洲線(沖洲埠頭線)

北連絡道路

中央連絡道路



4. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
 - ・ 土地の残存価値
- 計 **92.5億円**
(現在価値化後)



その他の便益

計 **16.3億円**
(現在価値化後)

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 4.9億円
- ・ 騒音低減効果 11.4億円

※費用C=76.3億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.2$$

(参考) その他の便益を含むB/C=1.4

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 災害時の復旧・支援の強化
⇒ 災害時の拠点間アクセスを強化
- 避難ルートの強化
⇒ 避難路の追加と円滑化
- 緊急輸送道路の代替ルート確保
⇒ リダンダンシーの確保

産業振興

- 観光客の利便性向上
⇒ 観光客船バースへのアクセス強化
- 物流の効率化
⇒ 複合一貫輸送ターミナルから
インターチェンジ間のアクセス強化

5. 臨港道路整備による多様な効果①【防災・減災】

【防災・減災】災害に強い輸送ネットワークの構築

①災害時の復旧・支援の強化

- ・各種防災拠点機能を持つマリンプア沖洲と、拠点病院・輸送拠点とをつなぐ**アクセス道**を形成

②避難ルートの強化

- ・マリンプア沖洲への3本目のアクセス道を形成し、**新たな避難ルート**を確保

③緊急輸送道路のネットワーク強化

- ・緊急輸送道路を補完し、**リダンダンシー**を確保
- ・耐震強化岸壁から四国横断自動車道や国道11号への**アクセス向上**



6. 臨港道路整備による多様な効果②【産業振興】

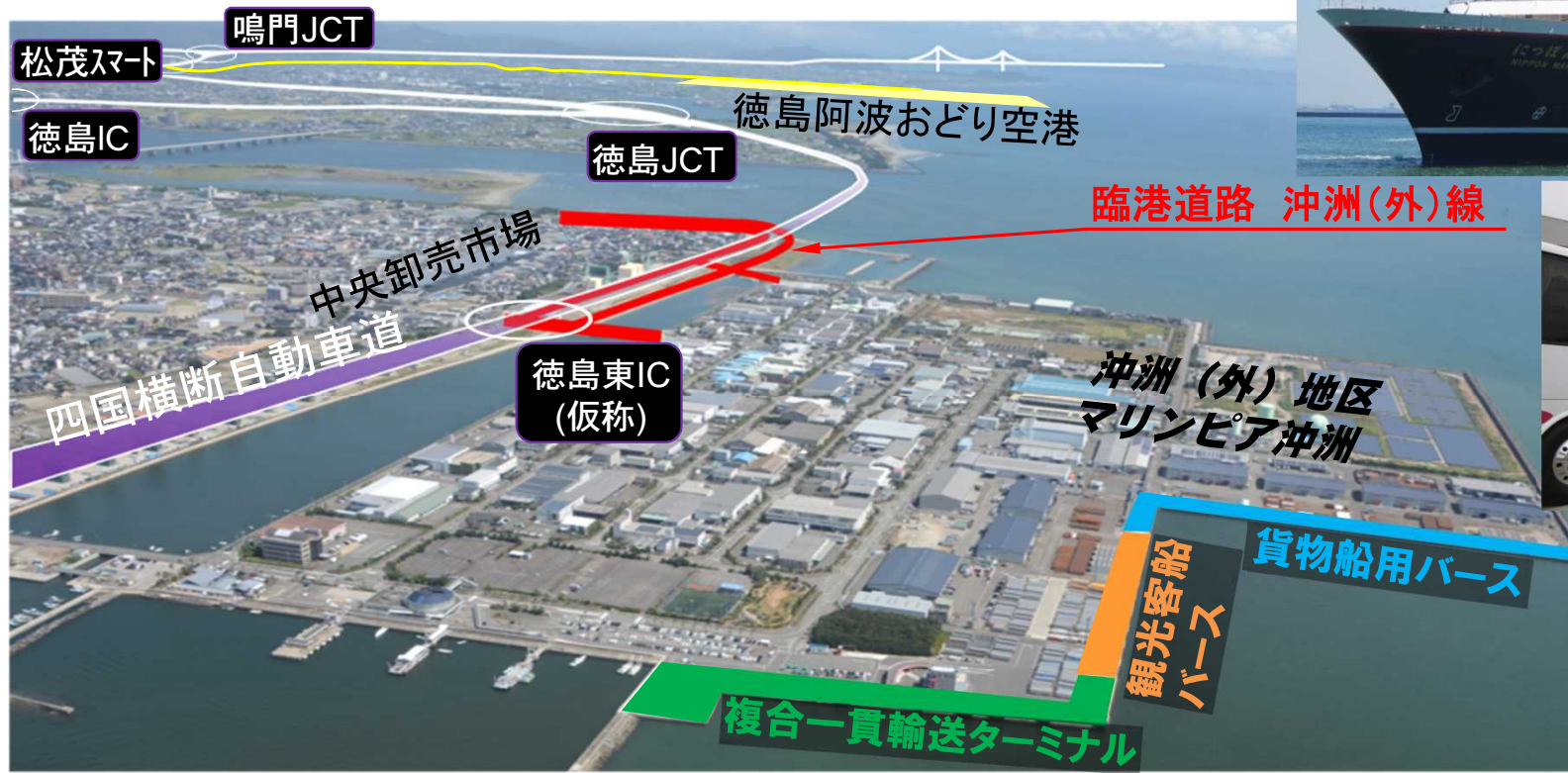
【産業振興】地域経済の活性化

①観光客の利便性向上

マリンピア沖洲へ寄港するクルーズ客船や、東京～北九州間フェリーで来県する観光客の県内観光地や商業施設への**移動が円滑化**

②物流の効率化

陸・海・空の結節点を形成することにより、複合一貫輸送ターミナルや貨物専用岸壁では、より効率的・広域的な集荷が可能となり、背後圏に立地する企業の産業競争力強化に寄与



観光客船
バス
貨物船用バス

7. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

- ・ 走行時間短縮便益
 - ・ 走行経費減少便益
 - ・ 交通事故減少便益
 - ・ 土地の残存価値
- 計 **92.5億円**
(現在価値化後)



その他の便益

計 **16.3億円**
(現在価値化後)

環境

- ・ 大気汚染や温暖化防止効果 4.9億円
- ・ 騒音低減効果 11.4億円

※費用C=76.3億円 (現在価値化後)

$$B/C = 1.2$$

(参考) その他の便益を含むB/C=1.4

貨幣価値に表れない整備効果

防災・減災

- 災害時の復旧・支援の強化
⇒ 災害時の拠点間アクセスを強化
- 避難ルートの強化
⇒ 避難路の追加と円滑化
- 緊急輸送道路の代替ルート確保
⇒ リダンダンシーの確保

産業振興

- 観光客の利便性向上
⇒ 観光客船バースへのアクセス強化
- 物流の効率化
⇒ 複合一貫輸送ターミナルから
インターチェンジ間のアクセス強化

■ 今後の対応方針(案)

事業継続